令和８年度第１回　大阪府高齢者医療懇談会
会　議　概　要

１　日　時　　令和８年９月 25 日（金）　14 時～15 時

２　場　所　　大阪府後期高齢者医療広域連合（中央大通ＦＮビル８階）　会議室

３　出席者

(1) 大阪府高齢者医療懇談会委員（７名）

森 詩恵 委員（会長）

（以下 50 音順）

小谷 泰子 委員、瀬野 陸見 委員、橘 和彦 委員、永濵 要 委員、前田 葉子 委員、松浦 正佳 委員

(2) 事務局

事務局長　北吉 秀輔、事務局次長兼総務企画課長　定光 紀尚、

資格管理課長　竹井 芳紀、給付課長　吉本 慎吾　ほか

４　議　題

(1) 会長・副会長の選出について

(2) 組織・制度施行状況について

(3) 大阪府後期高齢者医療広域連合第４次広域計画の改定について

(4) 第３期高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）の中間見直しについて

(5) その他

５　議事の概要

各議題について事務局から説明を行った後、意見交換を行った。

議題（1）会長・副会長の選出について

・会長には、委員の互選により森委員を選出

・副会長には、会長の指名により瀬野委員を選出

議題(2) 組織・制度施行状況について

（会長）

- 保険料の収納率が２年連続で下がっていますが、この背景については事務局でどのようにとらえていますか。保険料が高くなってきていますし、子ども・子育て支援金の新たな徴収

も始まっていますので、医療サービスの抑制などがあるかどうか確認しておく必要があると思いますので、説明をお願いします。

（事務局）

- 保険料の収納率は２年連続で下がっている状況です。大きな要因としましては、年金からの特別徴収をする際に、介護保険料と後期高齢者医療の保険料を合わせて年金額の２分の１を超えてしまった場合、特別徴収をストップするという制度があります。介護保険料と後期高齢者医療保険料が高くなっているために、この判定に該当するケースが増えており、保険料収納における特別徴収の割合が年々下がっています。大阪広域においては保険料の全調定額の 50%を割り込んでいる状況です。割り込んだ部分に対しては、納付書や銀行からの口座引き落としによる普通徴収で市町村に頑張って徴収していただいているところです。普通徴収の収納率については 98.85%で若干下がってはいますが、この率は普通徴収だけで見ると全国平均並みとなっています。大阪広域におきましては、特別徴収の割合が下がってきたことで、全国的にみると収納率が低いことになっていると考えています。

（会長）

- 医療保険料だけではなく介護保険料も上がってきているということで、年金が少し増えたとしても厳しい状況ですので収納率が下がってきているということですが、この状況が続けば保険料の抑制に取り組まれたとしても収納率が今後さらに下がるという懸念がありますので、納付書等の対策に力を入れていただきたいと思います。

（委員）

- 健診等の受診率について、広域連合からの案内ではなく自分で定期的に歯医者に行ったり人間ドックを受診した場合、受診率には反映されていますか。

（事務局）

- 広域連合の制度を利用して、対象となる医療機関で受診されたものを反映しています。

（委員）

- 受診券を持たずに自分で定期的に健診を受けている人は多いと思います。

（事務局）

- 制度を利用していただければ年１回無料で健診を受けていただけるので、ぜひ利用していただければと思います。

（会長）

- 日頃病院にかかっているので、あらためて健診を受診する必要がないと思われる方もおられると思いますが、そのうちの１度で健診制度を利用していただけたら受診率が上がると思いますので、情報の提供と受診の促進をお願いします。

（事務局）

- 歯科健診については、普段の診療よりも検診科目が多くなっており、飲み込みの機能確認などもありますので、ぜひ利用していただきたいと思います。

（委員）

- 大阪府の後期高齢者医療歯科健康診査につきましては、大阪府歯科医師会の会員であるクリニックでなければできないということで、非会員のクリニックに行かれている方はこの健診はできないということになっています。ハガキを持参していただく必要はなく、問診票を書いていただいて無料で健診を実施していますので、ぜひ会員のクリニックで受診していただきたいと思います。歯だけではなく口腔機能の検査も行っており、大阪大学と協力してデータを取っていますので、ご協力いただければと思います。健診のデータは新聞に掲載したりしていますので、こちらのほうでも広報していきたいと思います。

（委員）

- 保険料の特別徴収につきまして、窓口での感覚で言いますと、制度開始当初は天引きに対して抵抗が強かったと聞いていますが、今はなぜ天引きできないのかという声が多くなっています。基礎年金の２分の１を超えると天引きできないという制度の見直しの動きは国のほうであるのでしょうか。

（事務局）

- 特別徴収につきましては、被保険者の利便性も考えて、厚生年金など基礎年金以外の年金を選択して、あるいは基礎年金の２分の１を超えても申請により天引きができるように、制度改正の要望を国にあげ続けているところです。直近の状況としては、令和 10 年度を目途に公共サービスメッシュというものが作られ、年金データの横断的な利用ができるようになると聞いております。厚生労働省としては公共サービスメッシュができた後に、状況を見ながら制度改正ができればということです。引き続き国に対しては制度改正の要望を行っていきます。

議題(3) 大阪府後期高齢者医療広域連合第４次広域計画の改定について

（会長）

- 資料２－２　３ページ目にある保険料収納率の推移のグラフで新計画のほうに「【図３】保

険料収納率の推移」という見出しが入っていませんので修正してください。

（事務局）

- 次のページにずれていますので修正します。

議題(4) 第３期高齢者保健事業実施計画（データヘルス計画）の中間見直しについて

（委員）

- 資料３　「４　今後の対応」の（１）のところで「優先すべき健康課題に紐づく保健事業については、優先的に把握、評価する。」とありますが、資料の中のどれになるのでしょうか。

（事務局）

- 別紙１の２ページ目上段、「４　計画の全体像」のところで広域連合がアプローチする課題という項目があります。このうち※のついている「Ｂ健康診査・歯科健康診査の受診率向上」、「Ｆフレイル予防及び介護予防の強化」を優先的な課題として設定しています。

（会長）

- データ分析を今行っているということですが、この９月までの２年半のデータで行っているのでしょうか。今年度について９月までで見れば健診の実績が若干下がっています。夏以降、年度の後半に受診する方が多いと思われますので、実際の現状を把握し、分析していただきたいと思います。

議題(5) その他

（特に発言なし）

以上